農業振興への取組み

JAバンク三重は、JAグループの一員として、「農業生産の拡大」「農業者の所得増大」の実現に向けて、金融・非金融の両面から、地域農業の振興に資する取組みを行っています。

地域農業の発展への取組み

● 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク三重では、資材価格高騰等の影響を受ける担い手の皆さまが安心して事業を継続できるよう、“担い手金融リーダー”を中心に、農業資金の融通はもとより、公的支援制度や販路拡大先のご紹介、事業承継や法人化への相談対応などの担い手の経営ニーズにあわせた各種支援策に積極的に取り組んでいます。

また、農業者の課題解決に向けた相談対応力を強化するため、“JAバンク農業金融プランナー”や“農業経営アドバイザー”の資格取得を進めており、令和６年度末時点での有資格者数は207名となりました。

トマト栽培ハウスへの訪問

茶畑への訪問

牛舎への訪問

● 利子補給等による農業経営の支援

JAバンクでは、農業経営を資金面でサポートできるよう農業資金をご利用いただいているお客さまに対して「JAバンク利子補給事業」を実施しており、最長５年間、最大年1.0％の利子補給を行っています。本県では令和６年度において、1,441件、4,856万円の利子補給を行いました。

このほか、農業法人等の規模拡大や財務安定化をサポートするため、アグリビジネス投資育成株式会社と連携し、資本供与の枠組みとして設けた「アグリシードファンド」の利用提案を行いました。

● スマート農業技術やJ-クレジット制度を活用した持続可能な農業の発展に対する取組み

JAバンク三重では、JA全農みえと連携し、衛星画像を用いた圃場管理や水位センサーを用いた水管理など、センシング技術を活用したスマート農業の導入を支援しています。

また、地域農業の持続可能な発展を目指し、カーボンクレジットの創出への取組みも進めており、J-クレジット制度で認証されているバイオ炭※の農地施用に向けた実証実験や水稲栽培における中干し期間延長の取組みを支援しています。

※バイオ炭は、植物や有機廃棄物を低酸素状態で加熱して作る炭素主体の物質です。土壌改良材として利用され、土壌の保水性や肥沃度を向上させるほか、炭素を長期間土壌に固定することで、温室効果ガスの削減や気候変動対策にも寄与します。

● ビジネスマッチングによる農畜産物等の販路開拓支援

当会は、県内農畜産物やその加工品の消費拡大を目的に、「食の大商談会inみえ」（三重県等と共催）を、令和６年10月に開催しました。当商談会では、生産者や加工業者とバイヤーが一堂に会し、216件の個別商談が行われました。

このほか、当会がお取引先企業と系統団体、お取引先企業同士の仲介役となり、県産食材の販路拡大や同食材を活かした商品開発等にかかるマッチング支援を201件実施しました。

「食の大商談会inみえ」の開催風景

マッチング支援による販売事例

● 経営ニーズに応じた資金供給およびコンサルティング機能提供

JAバンク三重では、農業経営資金をはじめとしたプロパー資金、各種制度資金、日本政策金融公庫資金等の的確な資金供給対応に加え、農業者の皆さまの法人化、事業承継などの経営課題解決に向け、税理士などの外部専門家と連携したコンサルティング機能の提供を行いました。

このほか、農業の課題である残渣の利活用に向けた肥料化・飼料化の支援など、農業者の経営ニーズに応じた支援に取り組んでいます。

● 物価高騰への対応

JAバンク三重では、物価高騰により影響を受けられたお客さまを対象に、資金相談窓口を通じて返済条件の緩和等に取り組むとともに、農業者の皆さまに対しては、実質無利子化措置等を講じた物価高騰対策資金による資金繰り支援に取り組みました。なお、県下JAにおける当資金の令和６年度貸出実績は189件、７億6,703万円となりました。